

Cushing 症候群の排尿についての調査研究

Cushing 症候群の患者さんへ

排尿日誌・質問用紙ご記入、睡眠リズム測定をお願い

課題名：Cushing 症候群患者の排尿リズムと睡眠リズムの検討

① 研究の目的・意義について

膀胱の容量は一般的に、夜間に増加し日中に低下する日内リズムが存在することが知られています。しかしこのリズム形成が未成熟であったり、退化してしまったりすることで夜尿症や夜間頻尿といった疾患の原因となっているのではないかと報告がなされています。

私たちは基礎研究においてコルチゾールがこのメカニズムに強く関わっていることを解明しました。そこでこのコルチゾールのリズムと排尿のリズムの関連についてより詳しく理解するために、Cushing 症候群の患者様の排尿状況について調査したいと考えました。

恐れ入りますが、睡眠リズムを測定するウェアラブルデバイスを装着した状態で、排尿の状況を記載いただく研究にご協力いただけないでしょうか。

ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

② 研究期間について

承認後～ 2027 年 3 月 31 日

③ 研究の方法について

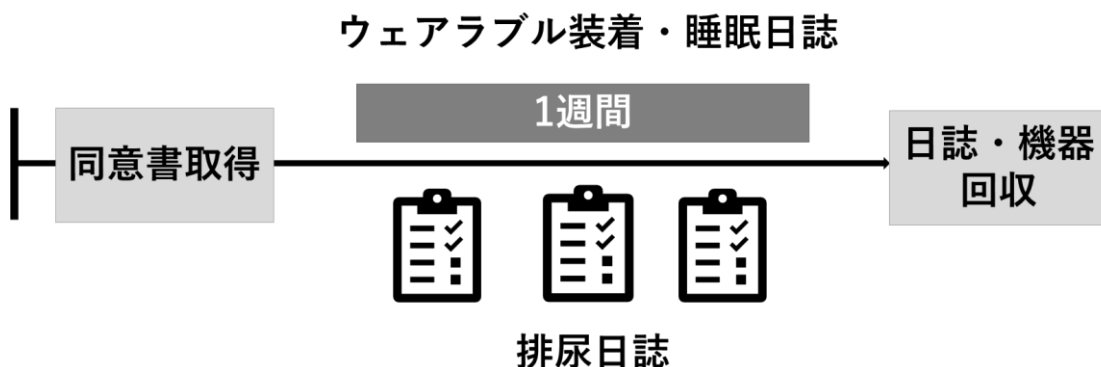
③-1 排尿日誌、排尿・睡眠に関する質問用紙の記載

今回、筑波大学附属病院にて Cushing 症候群で通院や治療を予定されておられる患者様に、排尿日誌の記載をお願いいたしております。具体的には 1 週間の内 3 日間程度の、24 時間の排尿量、排尿時間、飲水量を日誌の形式で記載いただくこととなります。また排尿・睡眠に関する質問用紙にも同時にご記入をお願いいたします。記載いただきました日誌・質問用紙に関しましては、下記のウェアラブルデバイスとともに、お渡しします封筒にて当科へご返送ください。

③-2 ウェアラブルデバイスの装着

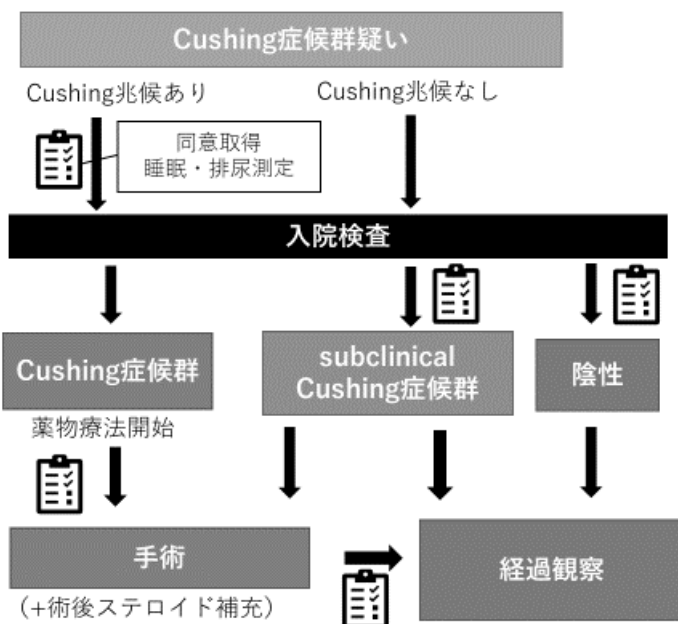
上記の排尿日誌をご記載いただく 1 週間の間に、睡眠のリズムを測定する腕時計型の

ウェアラブルデバイスを装着いただきます。入浴時以外は基本的には装着いただきたいと考えておりますが、どうしても外す必要のある状況では、一時的に外していただいてもかまいません。また併行して・睡眠日誌にもご記載をいただきます。



③-3

検査や治療の結果によって、複数回の睡眠・排尿測定を実施する可能性があります。具体的には Cushing 症候群・Subclinical Cushing 症候群と診断された方の、薬物治療中、手術治療後になります。



④ 研究の体制について

本研究は筑波大学にて行います。得られた調査結果は、事務局（筑波大学腎泌尿器科）にて集計します。

⑤ 研究の資金源について

本研究は資金提供を受けずに実施されます。

また、本研究で利害関係が想定される企業・団体からの経済的な利益やその他の関連する利益は受けていませんので、本研究の実施に影響を及ぼすことはありません。

⑥ 研究の費用について

この研究に関して謝礼の支払いはありません。

睡眠のリズムの結果につきましては希望者にはお知らせいたします。

⑦ カルテ情報を研究に用いること

患者さんの一般情報や、身体所見、血液検査所見などのカルテ情報を調べ評価し研究に用います。

⑧ 排尿、睡眠リズムの結果について

結果はすべて研究責任者および研究分担者が個人情報を取り除いた匿名化した状態で取り扱い、まとめて統計的に処理いたします。またこの研究で得られた情報は、本研究のみに使用いたします。

⑨ 保管について

回収させて頂いた質問票は当院泌尿器科医局にて保管し、本研究が終了後 5 年または結果公表日から 3 年のいずれか遅い日まで保存します。

⑩ 同意の撤回について

この研究への参加が、治療に不利益を与えることは決してありません。また、いったん調査へのご協力をいただくことに同意し、質問票に回答し始めた後でも、同意を撤回したり、拒否していただいたりすることは自由です。

⑪ 個人情報の取り扱いについて

個人情報の取り扱いには厳重に注意を払います。この調査で患者さん個人のお名前が公表されることはありません。私達は患者さんのプライバシーを必ず守ります。

⑫ 個人情報の開示について

排尿日誌や睡眠リズムの内容について個人情報開示が必要な場合は、主治医にお気軽にご相談ください。

⑬ 研究責任者

筑波大学附属病院 泌尿器科 教授 西山 博之

⑭ 質問・お問い合わせ先

筑波大学附属病院 泌尿器科 准教授 根来宏光

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保2丁目1番地1

電話：029-853-3900（対応可能時間 平日9～17時）

大変お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。